

【令和2年度登録販売者生涯学習研修会のお知らせ】

コロナウイルス感染拡大の中、本年度研修の実施につきまして、上部団体の全薬協が厚生労働省担当者と何度も打ち合わせを行い、「登録販売者に対する研修の実施方法について」特殊事情を踏まえた配慮をお願いしておりました所、感染の拡大を見据えたこの特殊な1年間ということで、通信研修（DVDでの講座）が講義（集合研修）の時間数を超えても差支えないとの通知を頂きました。

このことにより、協会では、受講される皆様に対しまして、新型コロナウイルスの感染防止対策の一環として、現状に応じた研修会を行うことが重要と考え、ガイドラインに準じた通信研修（DVDでの講座：年間4回 12時間以上）形式により、令和2年度登録販売者生涯学習研修会を実施する事と致しました。

この研修会は、厚生労働省が示した外部研修ガイドラインに沿って学習実施要項を定め、厚生労働省及び宮崎県の後援のもと、「医薬品の適正使用に関する高度な専門的知識・技能を持った登録販売者の育成を図るため」一般用医薬品販売に従事している全ての登録販売者を対象に実施しているものです。全講座(年間4回・12時間以上)の受講者には、「修了証書」を発行致します。

《 受講料・教材 》

通信（DVD）研修受講料（各回）：会 員 1名に付き 3,000 円
非会員 1名に付き 4,000 円

教材：テキスト「今日のOTC薬 第4版」 斡旋価格 3,500 円

《 日程形式・講座内容 》

回	日程形式	講 座		内 容
第1回	8月 通信研修	A講座	第1講座	『動悸・息切れ』『不眠・いらいら・うつ』 ⇒五月病・六月病
		B講座	第3講座	薬事関係法規・制度 医薬品の適正使用安全対策
		B講座	第4講座	登録販売者として求められる理念、倫理、関係法規等 「医薬品の専門家として、知っておきたいドーピング」
第2回	9月 通信研修	A講座	第2講座	『感染症対策』
		A講座	第3講座	『消毒用薬』
第3回	11月 通信研修	A講座	第4講座	『熱だ!! 風邪かも』
		B講座	第1講座	薬事関係法規・制度 医薬品の適正使用安全対策
		B講座	第2講座	リスク区分等の変更があった医薬品
第4回	令和3年 2月 通信研修	A講座	第5講座	『肩こり・筋肉痛・腰痛・関節痛』
		A講座	第6講座	『便秘』

【 厚生労働省外部研修ガイドライン 】

登録販売者の資質の向上のための外部研修に関するガイドライン

(薬局開設者並びに店舗販売業者及び配置販売業者が委託して行う外部研修について)

1、目的・概要

登録販売者に対する一定水準の研修を確保し、登録販売者の質の向上を図るため、薬局開設者並びに店舗販売業者及び配置販売業者(以下「一般用医薬品販売業者等」という。)が実施しなければならない従事者に対する研修のうち、登録販売者に対して外部研修実施機関に委託して行う研修(以下「外部研修」という。)に関する事項についてガイドラインとして定めるものである。

2、研修の受講対象者、時間数等について

一般用医薬品販売業者等は、当該販売業者等の業務に従事する登録販売者に対し、以下の要領により外部研修を受講させること。

(1)外部研修の受講対象者

- ・一般用医薬品販売業者等は、当該販売業者等の下で一般用医薬品の販売に従事するすべての登録販売者を外部研修の受講対象者とする

(2)外部研修の時間数

- ・一般用医薬品販売業者等は、外部研修の受講対象者に対し、毎年、少なくとも計12時間以上、定期的かつ継続的に研修を受講させる

(3)外部研修の実施内容等

- ・一般用医薬品販売業者等は、外部研修の実施内容が、3、を満たすものであることをあらかじめ確認すること。

(4)外部研修の修了認定の確認等

- ・一般用医薬品販売業者等は、外部研修の受講対象者が研修を受けたことを修了証等で確認し、その旨を適切に記録・保存すること。

3、外部研修の実施内容等について

外部研修の実施機関、実施内容等については、以下の事項を満たしている

(1)研修の実施機関

- ・研修の実施機関は、登録販売者の質の向上のための研修の専門性・客観性・公正性を確保することができ、かつ、登録販売者の職能に応じた相当の研修実績を有すること。

(2)研修の実施体制

- ・研修の実施機関は、教育、学術関係者、消費者等の参画を求め、研修の実施体制の客観性を十分に確保すること。
- ・研修の実施機関は、研修等の企画・運営・実施形式・内容・時間数・修了証交付等に関する実施要領を定めること。
- ・研修の講師は、実施する研修内容に関する専門的な技術・知識を有するものであること。
- ・研修の実施機関は、研修の実施方法、実績等の情報を公表すること等により研修の透明性を十分に確保すること。
- ・研修の実施機関は、実施する研修の概要を自治体に届け出ること。また、自治体の求めに応じて、研修の実施方法、実績等の情報も提供すること。

(3)外部研修の形式

- ・研修は、講義(集合研修)を基本とすること。
- ・遠隔講座・通信講座による研修を行う場合は、講義(集合研修)と組み合わせで行うこと。また、遠隔講座・通信講座による研修を行う場合には、その時間数が講義(集合研修)の時間数を超えないこと。

(4)外部研修の内容

- ・研修の実施機関は、次の①から⑦に係る事項について研修内容に含めること。また、研修のために必要な教材を用意すること。
 - ① 医薬品に共通する特性と基本的な知識
 - ② 人体の働きと医薬品
 - ③ 主な一般用医薬品とその作用
 - ④ 薬事に関する法規と制度
 - ⑤ 一般用医薬品の適正使用と安全対策
 - ⑥ リスク区分等の変更があった医薬品
 - ⑦ その他登録販売者として求められる理念、倫理、関連法規等

(5)外部研修の実施頻度

- ・研修は、毎年、定期的かつ継続的に行うこと。

(6)外部研修の修了認定及び修了証の交付

- ・研修の実施機関は、研修参加者の研修の修了に当たり、試験その他の方法により、研修参加者の研修内容の習得を確認し、修了証等を研修参加者に対し交付することで、修了認定を適切に行うこと。また、研修参加者の氏名、研修内容等を適切に記録・保存すること。